

第22回古代体験まつり



令和2年10月11日(日)第22回古代体験まつりを開催しました。このイベントは、発掘調査の成果などからわかった古代の知恵やワザを体験してもらうものです。

今年は晴天に恵まれ、16の体験コーナーはどれも多くの来場者でにぎわいました。

屋外ステージでは、金沢市辰巳町の「辰巳こんころ太鼓保存会」による特別イベント、和太鼓演奏が披露され、拍手あり、笑いありの内容に、会場は大いに盛り上がりました。



R2 古代体験

古代体験まつり

今回のまつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場者に入場の際の検温、入場カードの記入、手指消毒、マスク着用等に協力をお願いしました。また体験コーナーについても、職員が体験者間の距離の確保や道具のこまめな消毒等の対応をとりながらの開催となりました。

新企画としての石川県立自然史資料館とのコラボ体験「古代の樹木を観察しよう」では、埋文センター体験ひろばにある樹木の自然的、考古学的の2つの観点から解説が行われ、また、ゴールデンウィークに開催できなかった「手形・足形づくり」も好評を得ました。どのコーナーも終日にぎわいを見せていましたが、特に「火おこし」、「まが玉づくり」、「縄文弓矢」が大人気でした。



R2 発掘調査

にしとう だ い せ き なかのしょういせき のみし
西任田遺跡、中ノ庄遺跡 [能美市]

西任田遺跡、中ノ庄遺跡は、能美市北西部の扇状地扇端部に立地しています。平成 28 年度に北陸新幹線建設に 11,340 m²の調査を実施し、弥生時代から鎌倉時代まで長期間、集落が営まれていたことがわかっています。今回は、新幹線本線に沿う取付け道路工事に伴うものです。

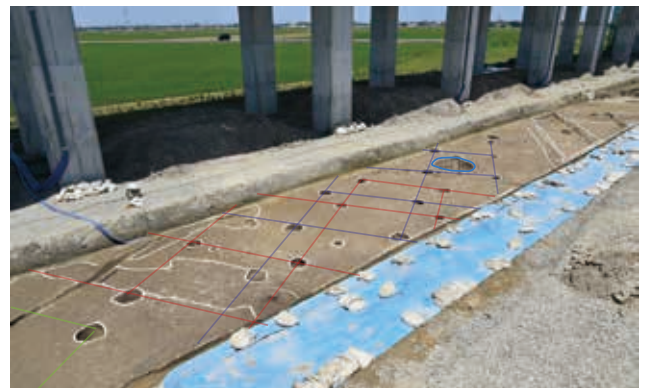
西任田遺跡では、平安時代～鎌倉時代の総柱の掘立柱建物や井戸、区画溝などを確認しました。井戸からは、下駄や櫛、漆器などが出土しました。調査区の南側は遺構が希薄ですが、南北方向の細い溝が存在することから水田があった可能性があります。

中ノ庄遺跡では、平安時代～鎌倉時代の総柱の掘立柱建物、井戸、土坑、区画溝のほか、弥生時代の溝、古墳時代後期の溝、河川跡などを確認しました。溝で区画された掘立柱建物は建て替えが行なわれ、地盤が比較的良い場所を継続的に利用したことがわかります。また、調査区南端と北端は遺構が少なく、水田や空地だったことが考えられます。

以上より、古代末～中世初めにおける両遺跡はよく似た様相が見られ、となりあう集落が同じような様相であったと思われます。



井戸から出土した下駄（西任田遺跡）



掘立柱建物と井戸（中ノ庄遺跡）



弥生時代の溝（前）と古代の区画溝（奥）（中ノ庄遺跡）



空から見た調査区（奥が金沢方向）



建物柱根（中ノ庄遺跡）

R2 発掘調査

かじ い えいせい
梶井衛生センター遺跡 [加賀市]

梶井衛生センター遺跡は、加賀市北東の平野部、柴山瀧から南へ2.5 kmの動橋川右岸に立地しています。平成28年度に北陸新幹線建設に伴う調査が行なわれ、弥生時代から中世までの集落を確認しており、弥生時代中期の平地建物、弥生時代後期の河川跡や溝、平安時代の掘立柱建物、井戸、河川跡などが確認されています。

今回の調査は新幹線本線に沿う取付け道路工事に伴うもので、3区・4区とした2つの調査区を合わせても150㎡と小規模な調査です。

3区では、平安時代の掘立柱建物、井戸などを確認しました。井戸は直径約120cm、深さ約90cmで、板を縦方向に打ち込んで井戸側板とし、底面には小砂利が敷かれています。「泉」と墨で書かれた須恵器の坏蓋が出土しました。隣接する前回の調査区でも同様の井戸が確認されています。

4区では、弥生時代後期の溝や土坑などを確認しました。溝の上面からは多数の甕や壺などの土器が出土しました。

以上より、弥生時代や平安時代の集落の広がり、南北方向の調査区外に伸びることを確認しました。



平安時代の建物と井戸 (3区)



井戸の底面付近 (3区)



弥生時代の溝 (4区)



弥生土器出土状況 (4区)



調査区全景 (白囲 奥:3区 前:4区)

R2 発掘調査

まつなしいせき
松梨遺跡 [小松市]

松梨遺跡は、小松市北部に位置する弥生時代～中世の集落遺跡です。北陸新幹線建設に伴う調査が平成 28・29 年度に行われ、古墳時代の溝、奈良・平安時代の河跡、鎌倉時代～室町時代の溝で区画された屋敷地などを確認し、屋敷内で建物と井戸が何度もつくり直されながら、存続した様子が明らかになりました。

今回の調査は、新幹線本線に沿う取付け道路工事に伴うもので、H～K 区に分けて調査を行いました。H・I 区は平成 29 年度調査区に接しており、H 区では前回調査区からのびる中世の区画溝を、I 区では中世以降の畠の畝溝を多数確認しました。

前回の調査成果も踏まえると、H 区は区画溝で囲まれた中世の屋敷地、I 区は屋敷に接した耕作地であったと考えられます。



I 区畝溝完掘状況（北から）



I 区作業の様子（北から）



H 区完掘状況（北から）



J 区作業の様子（北から）



H 区区画溝完掘状況（南から）



K 区作業の様子（南東から）

R2 古代体験

石川まいぶん博士チャレンジ講座

「石川まいぶん博士」チャレンジ講座は、博士認定の一環として、令和2年9月22日（火・祝）に開催し、9名の参加者が「古代人のワザ」にチャレンジしました。

まず、埋文センターの仕事内容の説明を受けた後、県内の遺跡から出土した縄文土器と弥生土器を観察し、その使い方について学びました。次に、貫頭衣を着て、縄文・弥生時代の復元住居を体感し、火おこし体験では、火の役割と大切さを知るとともに、古代米（赤米）や縄文人が食べていたと思われる「縄文クッキー」を自ら調理して試食するなど、古代の食についても体験学習しました。

参加者からは、「楽しかった」、「赤米がおいしかった」などの感想があり、満足度も高かったようです。本講座では「まなび」、「体験」各1ポイントが付与され、当日、博士認定者も出ました。



埋文センターのガイダンス



火おこし体験



古代の食体験

R2 古代体験

『親と子の発掘体験教室』

この体験教室は、小学校4年生～中学生とその保護者を対象に、実際に遺跡を発掘体験する教室です。令和2年度は、第1回を8月8日（土）に小松市の「古府シマ遺跡」で11組24名が参加、第2回を9月5日（土）に金沢市の「観法寺ヤツタ遺跡」で10組22名が参加して行われました。

第1回では、開始早々土砂降りの雨に見舞われ、水抜き作業から始まりましたが、蒸し暑さと戦いながら懸命に発掘する様子がかげえました。第2回は、国交省金沢河川国道事務所による金沢東部山側環状道路事業の説明があり、その後炎天下の中発掘作業が行われました。

両日とも応募が殺到し、抽選で選ばれた幸運な参加者からは、「貴重な体験ができた。発掘は地道で根気のいる大変な作業だ。」としきりに感心する声が聞かれました。



発掘の様子



発掘終わって集合



出土品洗浄体験

R2 情報発信

第 22 回いしかわの発掘展
『埋文センターを^{はっくつ}発掘しよう！』

遺跡や発掘という言葉は知られていますが、「なぜ地中にある遺跡の場所がわかるのか」「どうして発掘調査をするのか」「出土した土器をどうするのか」など、多くの人が持っている疑問に答えながら遺跡の発見から現地調査、出土品整理の仕方など埋文センターの仕事を紹介する展示を行いました。

コロナ禍での開催となりましたが7月11日(土)～9月6日(日)の期間に約2,800人の方が見学されました。



会場の様子



見学の様子

R2 古代体験

古代体験ミニ講座『鹿角製^{ろっかくせい}アクセサリーづくり』

8月23日(日)に「鹿角製アクセサリーづくり」を開催し、28名の参加がありました。まず割つてある鹿角を参加者に選んでもらい、縄文時代の装身具^{そうしんぐ}についての学習です。次に小石を使って角の中心にある髄^{ずい}を取り除き、砥石^{といし}で削ることで形を整えました。最後に縄文土器等の文様を参考に工具を使って模様を刻み、錐^{きり}で紐を通す穴をあけて完成^{にお}です。臭いに閉口された人もいましたが、各々思いのこもった作品に仕上がりが、首からさげて帰られた方もいらっしゃいました。



削ってます



完成です

R2 古代体験

『人物はにわづくり』

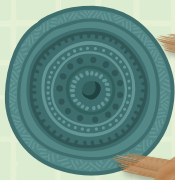
7月18日(土)～29日(水)まで、人気メニュー「人物はにわづくり」を行いました。小松市矢田野エジリ古墳出土埴輪^{はにわ}の製作技法を参考に、人物はにわ^{ひも}を作りしました。粘土紐^{ひも}を積み上げて形を整えていく作業は難しいものでしたが、埴輪の製作技術について理解を深めていただきました。完成した236体の作品は乾燥後に復元古窯で焼成し、8月19日(水)から本館ホールで展示と引き渡しを行いました。



製作の様子



焼き上がった作品



まいぶん日誌

2020
(令和2年)

7月～10月



7月

「いしかわの発掘展」準備中!



受付では間隔を空けて待ってね



体験工房での随時体験再開!
待ち遠しかった

ミニ縄文土器づくり
うまくできるかな!



弥生土器野焼きです



6月の講座で製作した作品の焼成
うまく焼けますように!

本館入り口にサーマルカメラ導入
しっかり検温して、新型コロナ対策です



8月

復元古窯の覆屋に蜂の巣発見



慎重に駆除しました



「藍の生葉染め」体験です。
上手に染まりました!

オンラインで参加



文化庁の埋蔵文化財
担当職員等講習会

「企画展 弥生工人の工具箱」



八日市地方遺跡「柄付き鉄製ヤリガンナ」
レプリカの完成お披露目です!

県庁インターンシップ
センターでの就業体験です



センター若手職員との
意見交換。何でも聞いて!

新型コロナ対策「検温」、「受付票」を
記入してから入場です



「古代体験まつり」入場口

10月

県教委のラジオ広報番組の
取材です



「楽しいです!」と言って
くれてるかな?

丁寧に調整します



古代体験学習講座
「須恵器づくり」

土と真剣に向き合っています



センターの裏側を
堪能してください



夏休み恒例の
バックヤード・ツアーです

9月

まだまだ依頼殺到!



出前考古学教室